



再構築準備室は、事務長室の向かいにあり、4名の職員で仕事をしています。

これまでの道のり

厚生連がツガミ跡地を取得したのは平成17年8月でした。

平成21年2月7日の三者（長野県・佐久市・厚生連）合意以前は、土地問題について長い間膠着状態が続いており、署名活動を行なったことは、職員・OB・市民団体

の皆さんの記憶に深く残っているかと思えます。そして、平成21年4月に新佐久市長が誕生し、（仮称）基幹医療センター建設に向けて、行政の協力が得られるようになり、院内でも具体的な検討がスタートしました。

院内調整

朔本部長を中心とする再構築推進本部会議の事務局を担っています。各部会・WG・委員会の進捗状況の報告や、院内外の課題についての協議を行なっています。再構築について、職員向けの大切なことについては、「再構築ニュース」を発行しておりますので、是非ご覧になってください。また、職場全体会議や院内運営委員会等では毎回、再構築についての状況報告を行なっています。

そのほか、コンサルとの協議や調整、新病院の設計では、設計事務所と院内各部署等との調整を行なっています。

院外調整

平成21年7月、佐久市に佐久総合病院再構築についての専門部署が設けられ、関係者への説明会等について、連携を取って行なっています。白田地区、中込中央区3区、佐久市中央工業会、佐久医師会等には、丁寧な説明会を行いました。今後、建設予定地の用途地の変更が終わると、いよいよ、新病院の建築工事がスタートします。安全に工事が進むよう、関係

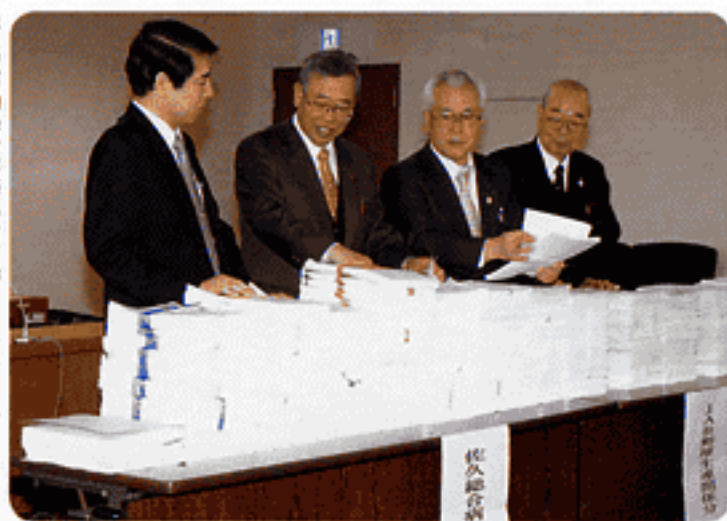
者との調整がますます重要になると思われれます。

最後に

日々の業務が多忙な中、院内各所で再構築についての積極的な議論が行われています。

事務局として、精一杯やってまいりますので、どうかよろしくお願ひします。再構築準備室は、職員の皆さまの再構築に関しての代弁と情報提供をする職場です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

（主任 堀 勝俊）



署名活動（再構築の原典）2009年3月9日